



安定・高温燃焼を
実現した新焼却炉
DAITO

焼却炉メーカーのD
AITO(愛知県瀬
戸市、井上滋樹社長)
はこのほど、万能用焼
却炉「SPZモデル」と
「SP II モデル」の
2機種を発売した。既
存のSPZ、SP II両
規制による焼却炉の構
造基準にも

適合保証」を付加して
いる。
両モデルで最適な燃
焼用エアによって燃焼
効率が向上しており、
また鋼板と耐火材を厚
くすることで耐久性能
も高くなつた。さらに
脚部や扉の補強により
本体の強度も上昇して
いる。

安全性への配慮とし
て新型投入扉を採用し
たことで、本体とのす
き間から出る未燃焼ガ
スを大幅にカットする
ほか、新設計のWカッ
ト集じん室により消煙

王モデルをベースに、木
や紙を安定的に燃焼す
る万能タイプとして焼
却炉の構造や設計を見

直し、燃焼効率を向上
させ、さらなる高温燃
焼を実現した。

設置に関する行政へ
の届け出が不要(条例
により届け出が必要な
自治体もある)で、法
規制による焼却炉の構
造基準にも

・集じん力を高めた。
「SPZモデル」は全
面開放扉で大きなゴミ
も楽に投入できる。
価格は焼却能力39
キロ時の「SPZ-5
00」が298万円、
「SP II-500」が2
78万円。焼却能力49
キロ時の「SPZ-6
00」が350万円(税
別、運賃・取り付け費
用など別)。

初年度は50台の販売
目標としている。

情報スペース

3136へ。

□0120-21